

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆クレカ不正利用、過去最悪555億円 番号盗用止まらず

・クレジットカードの不正利用を巡る2024年の被害額は前年比2.6%増の555億円に上り、過去最悪を更新。インターネットバンキングの不正送金被害も86億円と高水準で推移。カードや口座の情報を偽サイトで盗み取る「フィッシング」に歯止めがかかっていない。警察庁は偽サイトの判別に生成AI(人工知能)を導入する。

◆後発薬の使用率が急上昇、初の9割 先発薬に追加費用で

・先発薬から後発薬(ジェネリック医薬品)への置き換え率が2024年10月、初めて9割を超えた。先発薬を希望して使用する患者に追加費用を求める制度が同月に始まったため、安価な後発薬の普及で医療費抑制が期待できる。使用を定着させるには後発薬の供給不安解消が急務、厚労省は基金を設け生産拡大を支援。

◆備蓄米、25年産の買い入れ先送り コメ不足が計画に波及

・コメの供給不安が国の備蓄計画にも影響を及ぼし始めた。農林水産省が2025年産の備蓄米の買い入れを先送りしていることがわかった。例年は1月下旬から入札を複数回実施しているが、コメの流通不足や価格高騰を悪化させる恐れがあると判断。凶作などに備えて国が一定量を確保する備蓄米の買い入れを見送るのは異例。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆25年度の白物家電出荷額1.2%減に 業界団体予測

・日本電機工業会は、2025年度の白物家電の国内出荷額が24年度見込みに比べ1.2%減の2兆5462億円になりそうだと発表。直近10年間の平均(2兆4231億円)は上回るものの、24年の猛暑で出荷が好調だったルームエアコンが反動で落ち込むことなどが影響。ルームエアコンは8199億円と2%減少。25年度は反動減を見込む。

◆ヤマト運輸の宅配便数量2%増 2月、11カ月連続プラス

・ヤマトHD傘下のヤマト運輸が2月に取り扱った宅配便などの数量は、前年同月比2.0%増の1億3788万個。前年を上回るのは11カ月連続。巣ごもり需要で通販サイトなどの販売量拡大を背景に、宅配便の取扱いは2022年半ばまで急増。同年秋から需要落ち着き、前年を下回る月が続くも24年に入ると反動減が一巡、増加基調に。

◆特定技能の訪問介護、4月解禁 厚労省が人材確保で

・厚生労働省は外国人人材による訪問介護サービスについて、4月から今は認めていない在留資格「特定技能」の人や技能実習生も参入できるようにする。複数の要件を満たした場合に従事できるようにして、訪問介護の人手不足の緩和を目指す。訪問介護や訪問入浴介護などで特定技能の外国人人材らが従事できるようにする。

《 注目商品 》

■LIXIL、既設床に貼るだけのリフォーム用床材

・既設の床材の上から貼るだけのリフォーム用上張り床材「リノバ うわばReフロア」を5月8日発売。厚さ1.8mmの上張り工法用床材。耐水性の高い基材を使用、水まわりリフォームと合わせて床材を替えることができる。床暖房にも対応する。



■ハイアール、「セカンド冷凍庫」152L・135L・102Lの前開き冷凍庫

・冷凍スペースを増やしたい方へ、使いやすくお手頃なサイズの「セカンド冷凍庫」として、135L前開き式冷凍庫、152L前開き式冷凍庫と102L前開き式冷凍庫を発売。ご家庭の用途に合わせてお選びいただける、使いやすさにこだわった「セカンド冷凍庫」。



■城東テクノ、フチなし高気密床下点検口に「高断熱仕様」

・フレームレスな床下点検口「フチなし高気密型床下点検口 FUCHINE(フチネ)」に「高断熱型」を追加。床仕上げ面のノイズとなっていた「点検口のフチ」をなくした業界初というフレームレス床下点検口。120mmの断熱フタを標準装備した「高断熱型」を追加。

